



2026 年 3 月 3 日

各 位

会 社 名 : フクビ化学工業株式会社
代 表 者 名 : 代表取締役社長 森 克則
(コード番号: 7871 東証スタンダード・名証メイン)
問 合 せ 先 : 広報・IR 推進室長 柏 直樹
(TEL: 0776-38-8415)

破損したピンポン玉を再利用したベンチ寄贈に関するお知らせ

当社は、滋賀県草津市立総合体育館および京都府向日市民体育館に、破損したピンポン玉を再利用したベンチ（屋外家具ブランド「Fandaline（ファンダライン）」の『ルシアンベンチ』）を寄贈しましたので、お知らせいたします。

【概要】

びわこ成蹊スポーツ大学（滋賀県大津市、学長：黒澤 毅）学生の、「破損したピンポン玉を再利用して、社会に還元できる製品に生まれ変わらせられないか」という提案をきっかけに、本プロジェクトはスタートしました。同大学が毎年開催している「ビジネスプランコンテスト」にて、本リサイクルプロジェクトが優秀賞を受賞。製品化の実現に向けて、当社にお声がけをいただいたことが始まりです。

当社が企業理念に掲げる「化学に立脚し、新たな価値を創造、提案する」「地域に貢献し、環境共生型社会形成に寄与する」という精神のもと、学生のアイデアを形にするべく検討を重ねました。その結果、学生の熱意と当社の技術を融合させることで、耐久性とデザイン性を兼ね備え、環境負荷を低減した「循環型社会」を象徴する製品が完成しました。

【製品の特長：ピンポン玉の再資源化】

ベンチの座面部分には、当社の木粉樹脂押出成形品（再生木『プラスッド』）を使用しています。今回の特別仕様モデルでは、本来廃棄されるはずだった ABS 樹脂製のピンポン玉を粉砕し、『プラスッド』の原料に配合して製造いたしました。

【寄贈について】

完成したベンチは、次の通り寄贈式が執り行われ、滋賀県草津市立総合体育館および京都府向日市民体育館に、1 台ずつ設置されました。なお、寄贈先の選定につきましては、破損球の収集にご尽力いただいた滋賀県卓球協会と、T リーグ 京都カグラライズにご協力をいただきました。

寄贈品 : 「Fandaline」『ルシアンベンチ 0618 LB』（D612×W1862×H400） 各 1 台

<https://fandaline.jp/product.html#linus>

《1回目》

日時：	2026年2月25日（水） 14時～		
場所：	滋賀県草津市立総合体育館（滋賀県草津市下笠町161）		
参加者：	滋賀県卓球協会 理事長	堀内 安宏 様	
	合同会社草津市スポーツ振興事業体	辻田 明宏 様	
	びわこ成蹊スポーツ大学 学長	黒澤 毅 様	
	同 キャリアセンター長	清水 克彦 様	
	同 学生（発案者）	北田 晃大 様	
	フクビ化学工業株式会社 サステナビリティ推進室長	柏 直樹	

《2回目》

日時：	2026年3月2日（月） 16時～		
場所：	向日市役所（京都府向日市寺戸町中野20）		
参加者：	向日市 市長	安田 守 様	
	向日市教育委員会 教育長	山本 真也 様	
	向日市スポーツ文化協会 理事長	水上 信之 様	
	同 事務局長	北田 靖雄 様	
	京都カグヤライズ 代表取締役	池袋 晴彦 様	
	同 監督	小林 修平 様	
	同 選手	出雲 美空 様	
	同 選手	田村 美佳 様	
	びわこ成蹊スポーツ大学 副学長	石井 智 様	
	同 キャリアセンター長	清水 克彦 様	
	同 学生（発案者）	北田 晃大 様	
	フクビ化学工業株式会社 サステナビリティ推進室長	柏 直樹	



集合写真（2/25 実施分）は左から、辻田様、柏、北田様、黒澤様、堀内様

以上

< 本件に関するお問い合わせ先 >

フクビ化学工業株式会社 経営戦略本部
サステナビリティ推進室 担当：柏・笠嶋 TEL：0776-38-8012